

気候変動の影響に関するアンケート結果について（シンポジウムアンケート）

1. 目的

- 気候変動の影響については、日本でもすでに農業や自然生態系などの分野において影響が生じている可能性があると思われているほか、今後、様々な分野において影響が発生・拡大すると言われている。
- これらを踏まえて、気候変動の影響に対して国民が関心を持っている事項を把握するとともに、気候変動の影響評価を行う際にその結果を活用する。

2. 調査方法

- 気候変動に関するシンポジウム開催時にアンケート用紙を配布

3. 調査対象

- アンケート回答者：869人
 - 2014年10月21日開催 気候変動に関する最新の科学的知見～IPCC第5次評価報告書統合報告書に向けて～（東京都）：85人
 - 2014年11月6日開催 山形気候講演会～知って取り組む地球温暖化対策～（山形県）：37人
 - 2014年11月6日開催 「信州・気候変動モニタリングネットワーク」キックオフシンポジウム：（長野県）：60人
 - 2014年11月6日開催 三重県気候講演会（三重県）：124人
 - 2014年11月8日開催 気候講演会「地球温暖化をもっと知ろう」（静岡県）：44人
 - 2014年11月20日開催 海洋観測の現状と展望・地球環境科学への貢献（東京都）：91人
 - 2014年11月26日開催 「地域における気候変動適応策の離陸に向けて」（東京都）：82人
 - 2014年12月9日開催 平成26年度 気候講演会（沖縄県）：42人
 - 2014年12月18日開催 気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCと兵庫県民の対話～（兵庫県）：108人
 - 2014年12月25日開催 「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCの最新の科学的知見とCOP21への展望～」（東京都）：117人
 - 2014年12月27日開催 「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCと地域の対話 in 愛媛・松山～」（愛媛県）：79人

4. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 東京都：2014年10月21日（火）
 - 山形県：2014年11月6日（木）
 - 長野県：2014年11月6日（木）
 - 三重県：2014年11月6日（木）
 - 静岡県：2014年11月8日（土）
 - 東京都：2014年11月20日（木）
 - 東京都：2014年11月26日（水）
 - 沖縄県：2014年12月9日（火）
 - 兵庫県：2014年12月18日（木）
 - 東京都：2014年12月25日（木）
 - 愛媛県：2014年12月27日（土）

5. 調査結果の概要

- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
 - 「極端な豪雨の増加」（87%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（79%）、「台風の強大化」（72%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（72%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
 - 「海洋酸性化」（50%）が最も多く、次いで「渇水の増加」（46%）、「海面上昇」（41%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）
「日本の熱帯化」、「台風の本土接近時期の異変」、「降雨強度の増大」、「猛暑日が増えている。台風の被害が大きくなっている。近くで竜巻が起きた。海岸線が短くなっている。春・秋が短くなった。」、「台風、低気圧、雪」、「局地的突発的な異常気象」、「季節はずれの雪・氷、天候の固定化」、「台風が冬になっても発生している。夏が長く、春や秋の期間が短くなってきている。」
（農業・林業・水産業）

「食糧生産への影響」、「農作物の病気発生が多い」、「熱帯性作物栽培の適地北上（高緯度化）」、「農作物への影響」、「農産物の減少」、「野菜の値段の高騰。四季の二極化。」、「農作物への影響」

(自然生態系)

「植生の変化」、「10月の高温化、日本海海水魚の生息域の変化」、「生態系への影響など」、「害虫の発生」、「生物絶滅（危惧種）」、「生態系の変化」、「虫（農業に影響する）の増加」、「熱帯生物の北上」、「植生、海洋生物」、「生物分布の変化」、「生物の北上。魚、蚊やウイルス等」、「昆虫の異常発生、魚の生息域の変化」、「昆虫類の異常発生消滅」、「動植物の分布域変動」、「生物の分布の変化」、「南の生態系の北上」、「動植物の北限域が変化している。」、「生態系と植物の分布」、「南方系生物の北上」、「東京湾で熱帯魚が見られる。熱帯性のチョウが飛んでいる。」、「生物多様への影響」、「生物の絶滅 加速」、「桜の開花が早まる。」、「動植生の極方向への移動」、「高山にすむ生物（雷鳥など）への脅威」

(自然災害)

「地球規模での環境激変」

(健康)

「感染症の増加」、「感染症の発生。地域の拡大。」、「ウイルス感染」、「人間も気温・温度の急激な変動による健康への影響」、「感染症分布の拡大」、「熱帯・亜熱帯地域の伝染病の範囲拡大。」

(国民生活)

「蔵王の樹氷の減少」、「温暖化による四季のずれ」、「四季の変化（桜の開花や紅葉の時期）」

【今後現れることが心配】

(気候変動)

「南極周極流の流量変化」、「猛暑日の増加 極端気象の続出」、「台風、低気圧、雪」

(農業・林業・水産業)

「食糧飢饉」

(自然生態系)

「生物絶滅（危惧種）」、「温暖な地域で栽培されてきた果物が本州や北海道でも育つようになっている。」、「生態系の変化」、「植生への影響」、「植生北限の上昇（北上）」

(自然災害)

「山火事」

(健康)

「感染症の増加」、「(ヒマラヤ、北米の氷河の後退、南極の氷減少) 熱帯性伝染病の北上」

(国民生活)

「砂漠や熱帯雨林の急激な変化に伴う、地域紛争の発生・激化。グローバル居住マップの変更の遅れ。」

● 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

➤ 既に現れていると感じる分野

「洪水などの河川災害・都市災害」(61%) が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」(60%)、「農業」(55%) の順であった。

➤ 今後現れることが心配と感じる分野

「畜産業」(46%) が最も多く、次いで「林業」(43%)、「工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響」(43%) の順であった。

➤ 今後対策が必要と考えられる分野

「農業」(35%) が最も多く、次いで「洪水など河川災害・都市災害」(33%)、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」(32%) の順であった。

➤ その他の自由記述に記載された内容（例）

【既に現れている】

(自然生態系)

「生物分布の変化」

(国民生活)

「日本の四季が確実に狂い始めている」

【今後現れることが心配】

(自然生態系)

「人間以外の動植物生態系の激変。」

【今後対策が必要】

(自然生態系)

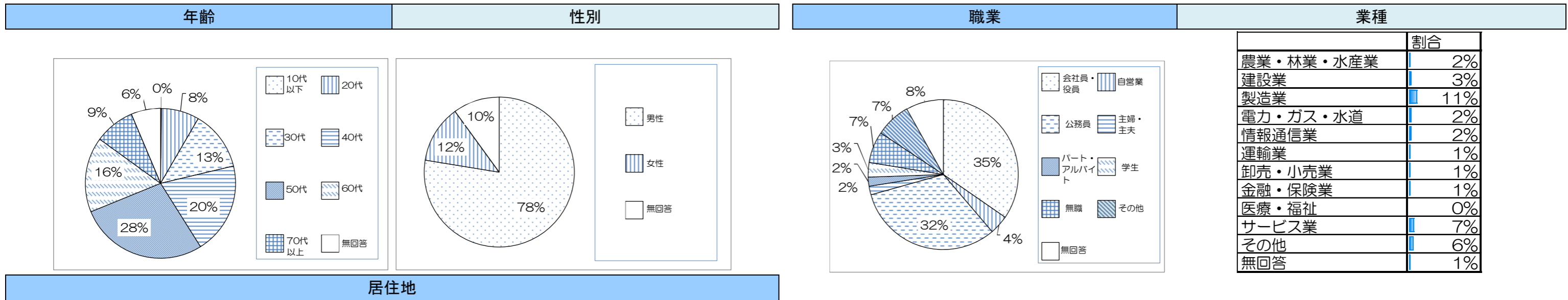
「生物分布の変化」、「人間以外の動植物生態系の激変。」

(国民生活)

「日本の四季が確実に狂い始めている」

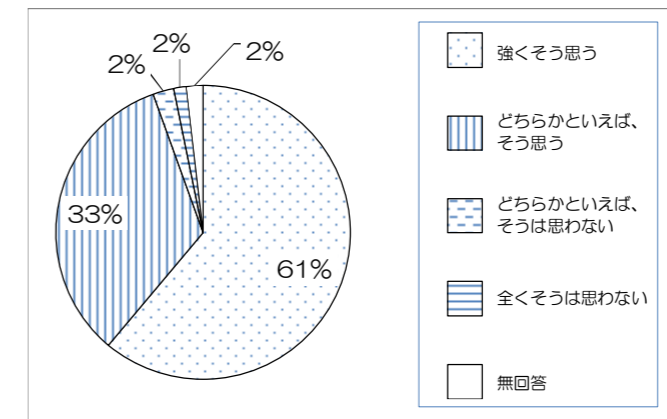
6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	79%	13%	90%
② 極端な豪雨の増加	87%	9%	94%
③ 渇水の増加	32%	46%	78%
④ 台風の強大化	72%	18%	90%
⑤ 竜巻の頻発	52%	31%	81%
⑥ 海面上昇	45%	41%	86%
⑦ 海洋酸性化	28%	50%	77%
⑧ 海水温の上昇	63%	25%	86%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	72%	18%	89%
⑩ その他	7%	2%	9%
【参考】無回答	4%	23%	

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - （気候変動）
 - 「台風の本土接近時期の異変」
 - 「降雨強度の増大」
 - 「日本の熱帯化」
 - 「年変動の増大」
 - 「季節はずれの雪・氷、天候の固定化」
 - 「台風が冬になっても発生している。夏が長く、春や秋の期間が短くなってきている。」
 - （農業・林業・水産業）
 - 「食糧生産への影響」
 - 「農作物の病気発生が多い」
 - 「熱帯性作物栽培の適地北上（高緯度化）」
 - 「農作物への影響」
 - 「農産物の減少」
 - （自然生態系）
 - 「植生の変化」
 - 「10月の高温化、日本海海水魚（サワラ、アイゴ、クロソイ、ブリ）の生息域の変化」
 - 「生態系への影響など」

- 「害虫の発生」
- 「生物絶滅（危惧種）」
- 「生態系の変化」
- 「虫（農業に影響する）の増加」
- 「熱帯生物の北上」
- 「植生、海洋生物」
- 「生物分布の変化」
- 「生物の北上。魚、蚊やウイルス等」
- 「昆虫の異常発生、魚の生息域の変化」
- 「昆虫類の異常発生消滅」
- 「動植物の分布域変動」
- 「生物の分布の変化」
- 「南の生態系の北上」
- 「動植物の北限域が変化している。」
- 「生態系と植物の分布」
- （自然災害）
 - 「地球規模での環境激変」
- （健康）
 - 「感染症の発生。地域の拡大。」
 - 「ウイルス感染」
 - 「人間も気温・温度の急激な変動による健康への影響」
 - 「日射しが強く、短時間で日焼けしてしまう。（海水浴で数時間浜辺にいただけで水泡ができるまで焼けてしまった）」
 - 「感染症の増加」
- （国民生活）
 - 「蔵王の樹氷の減少」
 - 「温暖化による四季のずれ」
 - 「四季の変化（桜の開花や紅葉の時期）」

- 今後現れることが心配
 - （気候変動）
 - 「南極周極流の流量変化」
 - （農業・林業・水産業）
 - 「食糧飢饉」
 - （自然生態系）
 - 「生物絶滅（危惧種）」
 - 「温暖な地域で栽培されてきた果物が本州や北海道でも育つようになっている。」
 - 「生態系の変化」
 - （健康）
 - 「感染症の増加」

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	55%	30%	82%	35%
② 畜産業	18%	46%	63%	21%
③ 林業	22%	43%	63%	20%
④ 水産業	47%	30%	75%	25%
⑤ 水質悪化など水環境	22%	39%	60%	22%
⑥ 濁水など水資源	26%	42%	67%	26%
⑦ 森林・高山の生態系	37%	35%	70%	19%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	20%	42%	61%	16%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	47%	27%	73%	22%
⑩ 海洋生態系	38%	33%	70%	21%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	61%	18%	77%	33%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	30%	38%	67%	26%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	53%	20%	71%	28%
⑭ 熱中症など暑熱	60%	18%	75%	23%
⑮ デング熱など感染症	43%	29%	71%	30%
⑯ 輸入食料への影響	25%	40%	64%	24%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	13%	43%	56%	20%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	33%	33%	65%	30%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	25%	40%	63%	17%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	51%	26%	74%	32%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	10%	41%	50%	16%
㉒ その他	1%	1%	1%	2%
【参考】無回答	14%	16%		36%

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（自然生態系）
 - 「生物分布の変化」
（国民生活）
 - 「日本の四季が確実に狂い始めています。花・虫・鳥なども」
 - 「教育・育児への影響、国際紛争の悪化」
- 今後現れることが心配
- 今後対策が必要
（自然生態系）
 - 「生物分布の変化」
（国民生活）
 - 「日本の四季が確実に狂い始めています。花・虫・鳥なども」
 - 「教育・育児への影響、国際紛争の悪化」

東京都（10月21日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年10月21日開催 気候変動に関する最新の科学的知見～IPCC第5次評価報告書統合報告書に向けて～（東京都）
回答者：85人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 東京都：2014年10月21日（火）

3. 調査結果の概要

- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

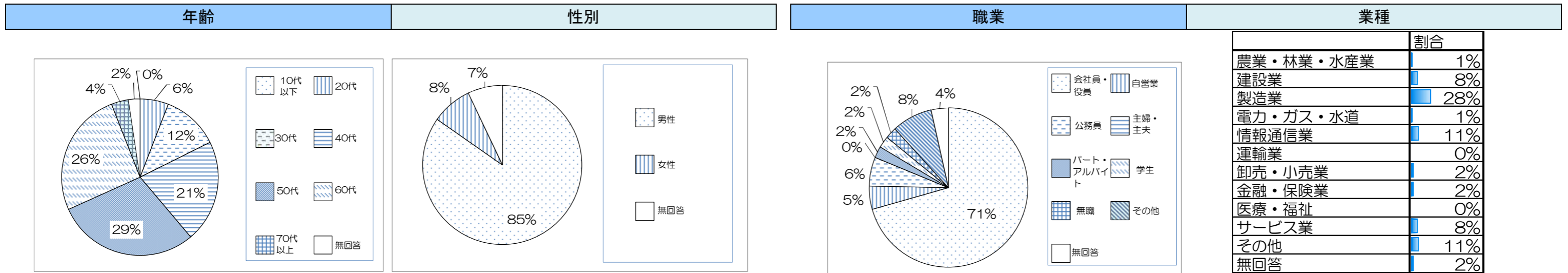
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」（87%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（76%）、「台風の強大化」（74%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「渇水の増加」（52%）が最も多く、次いで「海洋酸性化」（44%）、「海面上昇」（40%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）：「日本の熱帯化」
（農業・林業・水産業）：「食糧生産への影響」
（自然生態系）：「植生の変化」
（健康）：「感染症の発生。地域の拡汎。」、「ウイルス感染」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

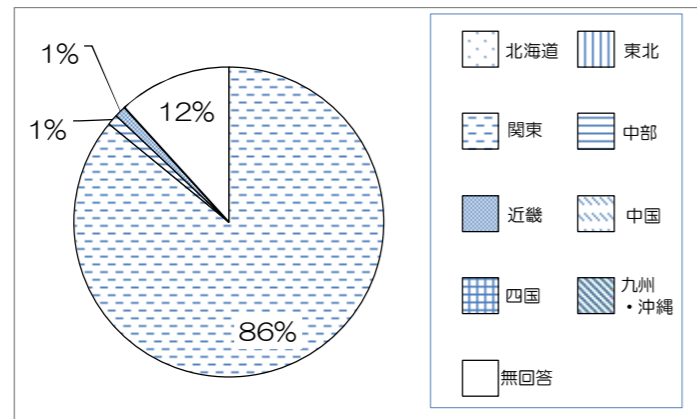
- 既に現れていると感じる分野
「洪水など河川災害・都市災害」（73%）が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」（66%）、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（60%）の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
「畜産業」（53%）が最も多く、次いで「淡水魚など淡水生態系」（47%）、「工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響」（47%）、「地方の祭り等文化面に与える影響」（47%）の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
「農業」（40%）が最も多く、次いで「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（38%）、「洪水など河川災害・都市災害」（34%）の順であった。
- その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（国民生活）：「日本の四季が確実に狂い始めている」
 - 【今後対策が必要】
（国民生活）：「日本の四季が確実に狂い始めている」

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

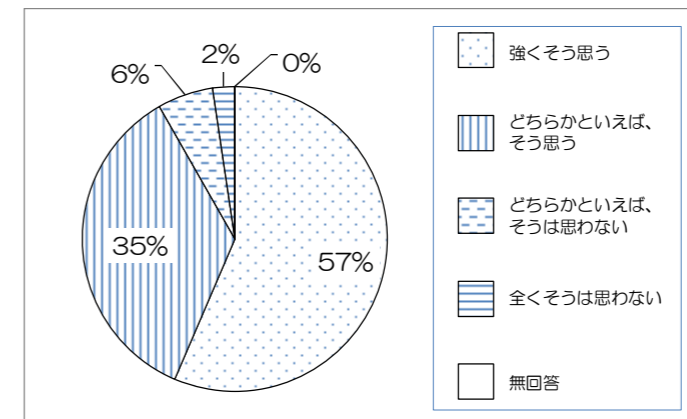


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	76%	13%	88%
② 極端な豪雨の増加	87%	6%	92%
③ 渇水の増加	28%	52%	80%
④ 台風の強大化	74%	13%	86%
⑤ 竜巻の頻発	54%	27%	79%
⑥ 海面上昇	41%	40%	81%
⑦ 海洋酸性化	33%	44%	76%
⑧ 海水温の上昇	64%	25%	88%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	72%	16%	88%
⑩ その他	7%	0%	7%
【参考】無回答	7%	24%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - （気候変動）
 - 「日本の熱帯化」
 - （農業・林業・水産業）
 - 「食糧生産への影響」
 - （自然生態系）
 - 「植生の変化」
 - （健康）
 - 「感染症の発生。地域の拡汎。」
 - 「ウイルス感染」

- 今後現れることが心配
 - 記述なし

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	52%	31%	82%	40%
② 畜産業	13%	53%	66%	13%
③ 林業	18%	46%	64%	18%
④ 水産業	42%	34%	76%	22%
⑤ 水質悪化など水環境	31%	39%	69%	20%
⑥ 渇水など水資源	27%	42%	69%	32%
⑦ 森林・高山の生態系	35%	27%	62%	16%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	18%	47%	65%	11%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	59%	14%	73%	25%
⑩ 海洋生態系	47%	25%	72%	16%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	73%	14%	86%	34%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	27%	41%	67%	18%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	58%	12%	69%	29%
⑭ 熱中症など暑熱	66%	13%	79%	28%
⑮ デング熱など感染症	51%	32%	82%	31%
⑯ 輸入食料への影響	24%	40%	64%	20%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	22%	47%	69%	24%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	35%	39%	73%	32%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	25%	39%	64%	12%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	60%	21%	81%	38%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	11%	47%	58%	14%
㉒ その他	1%	0%	1%	1%
【参考】無回答	15%	13%		31%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - （国民生活）
 - 「日本の四季が確実に狂い始めています。花・虫・鳥なども」
- 今後現れることが心配
 - 記述なし
- 今後対策が必要
 - （国民生活）
 - 「日本の四季が確実に狂い始めています。花・虫・鳥なども」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

山形県（11月6日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月6日開催 山形気候講演会～知って取り組む地球温暖化対策～（山形県）
回答者：37人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 山形県：2014年11月6日（木）

3. 調査結果の概要

- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約5割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

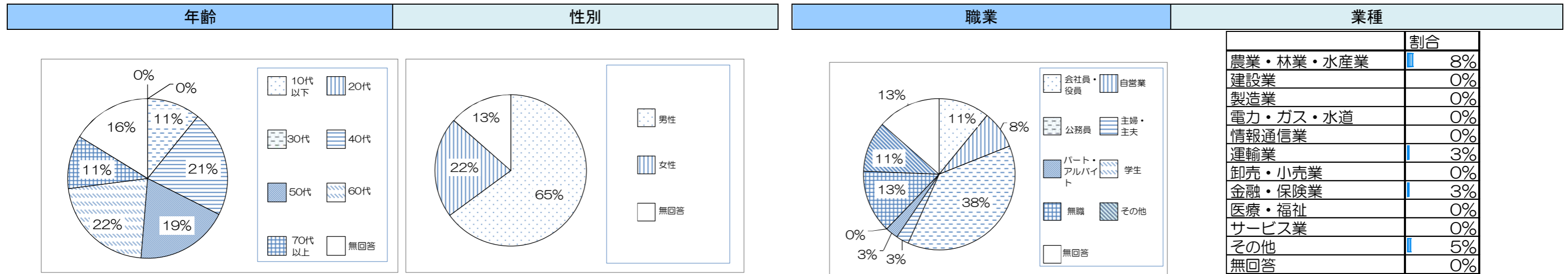
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」（81%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（76%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（76%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「海洋酸性化」（59%）が最も多く、次いで「渇水の増加」（54%）、「海面上昇」（46%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（自然生態系）：「害虫の発生」
（自然災害）：「地球規模での環境激変」
（国民生活）：「蔵王の樹氷の減少」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

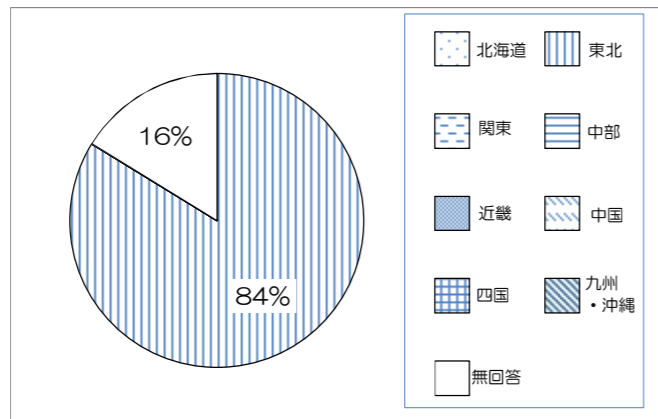
- 既に現れていると感じる分野
「洪水などの河川災害・都市災害」（65%）が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」（59%）、「土砂崩れなど山地災害」（54%）、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（54%）の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
「畜産業」（54%）、「林業」（54%）、「淡水魚など淡水生態系」（54%）が最も多く示していた。
- 今後対策が必要と考えられる分野
「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（30%）が最も多く、次いで「農業」（27%）、「エネルギー消費やエネルギー供給への影響」（27%）、「スキーや紅葉など観光業に与える影響」（27%）の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

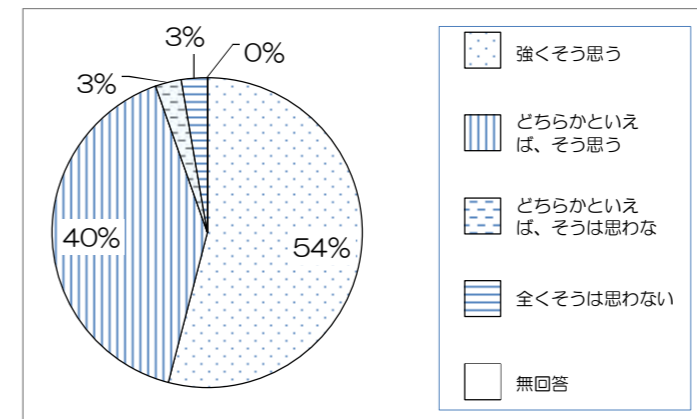


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	76%	19%	89%
② 極端な豪雨の増加	81%	16%	92%
③ 渇水の増加	30%	54%	78%
④ 台風の強大化	68%	24%	89%
⑤ 竜巻の頻発	59%	35%	89%
⑥ 海面上昇	46%	46%	89%
⑦ 海洋酸性化	22%	59%	78%
⑧ 海水温の上昇	70%	32%	97%
⑨ 北極の海水、南極の氷床、山岳の氷河の減少	76%	27%	97%
⑩ その他	8%	0%	8%
【参考】無回答	8%	24%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - （自然生態系）
 - 「害虫の発生」
 - （自然災害）
 - 「地球規模での環境激変」
 - （国民生活）
 - 「蔵王の樹氷の減少」
- 今後現れることが心配
 - 記述なし

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	35%	46%	76%	27%
② 畜産業	11%	54%	62%	16%
③ 林業	16%	54%	68%	14%
④ 水産業	43%	32%	70%	19%
⑤ 水質悪化など水環境	22%	46%	62%	24%
⑥ 渇水など水資源	24%	49%	68%	22%
⑦ 森林・高山の生態系	27%	41%	68%	22%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	11%	54%	62%	24%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	43%	35%	73%	16%
⑩ 海洋生態系	38%	38%	70%	11%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	65%	22%	81%	19%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	27%	38%	62%	14%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	54%	24%	73%	16%
⑭ 熱中症など暑熱	59%	22%	76%	14%
⑮ デング熱など感染症	46%	32%	73%	19%
⑯ 輸入食料への影響	24%	43%	65%	16%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	8%	49%	57%	16%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	35%	27%	57%	27%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	22%	35%	57%	27%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	54%	27%	73%	30%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	8%	49%	54%	16%
㉒ その他	0%	0%	0%	0%
【参考】無回答	24%	19%		46%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
 - 記述なし
- 今後対策が必要
 - 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

長野県（11月6日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月6日開催 「信州・気候変動モニタリングネットワーク」キックオフシンポジウム（長野県）
回答者：60人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 長野県：2014年11月6日（木）

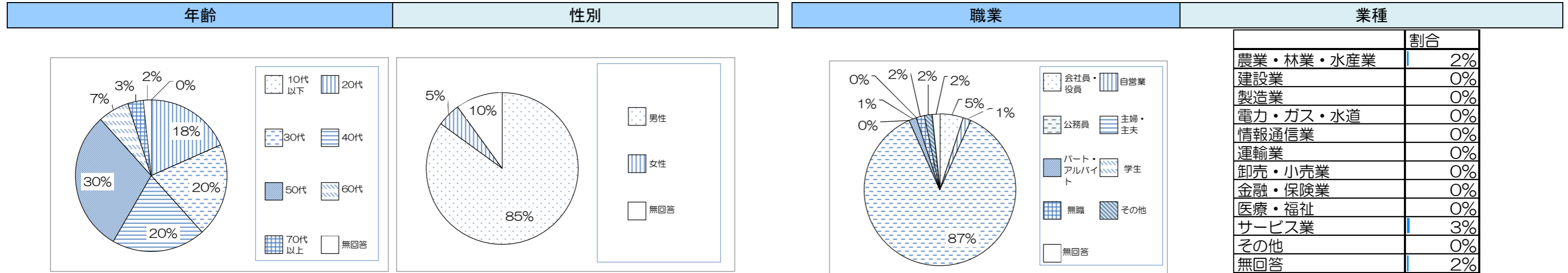
3. 調査結果の概要

- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「どちらかといえば、そう思う」と回答した方が最も多く、約5割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」(92%)が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」(82%)、「台風の強大化」(67%)、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」(67%)の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「海洋酸性化」(52%)が最も多く、次いで「渇水の増加」(50%)、「海面上昇」(45%)の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
【既に現れている】
（自然生態系）：「10月の高温化、日本海海水魚（サワラ、アイゴ、クロソイ、ブリ）の生息域の変化」

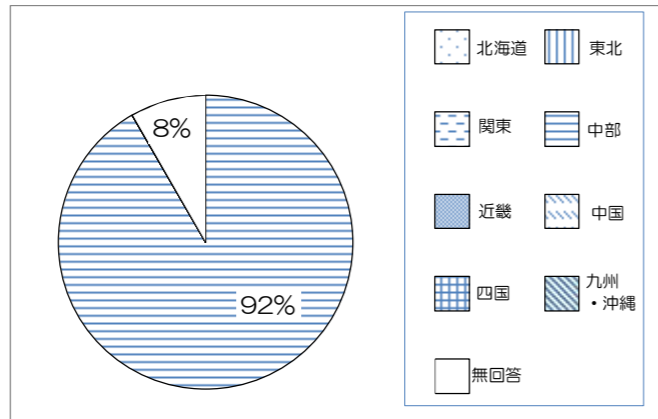
- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】
 - 既に現れていると感じる分野
「農業」(63%)が最も多く、次いで「森林・高山の生態系」(57%)、「洪水など河川災害・都市災害」(57%)、「熱中症など暑熱」(57%)の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる分野
「水質悪化など水環境」(45%)が最も多く、次いで「渇水など水資源」(43%)、「輸入食料への影響」(43%)の順であった。
 - 今後対策が必要と考えられる分野
「農業」(42%)、「デング熱など感染症」(42%)が最も多く、次いで「洪水など河川災害・都市災害」(38%)、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」(38%)の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

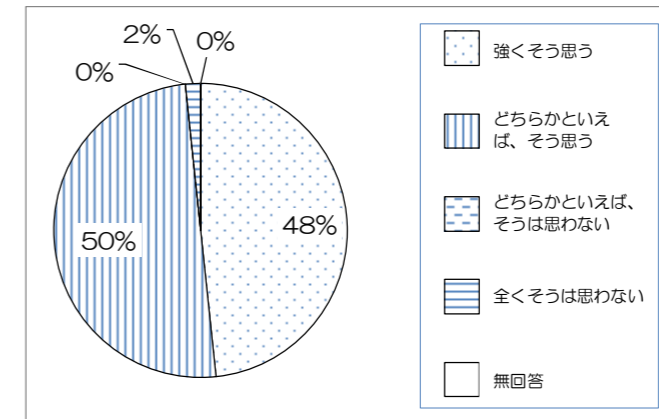


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	82%	10%	90%
② 極端な豪雨の増加	92%	7%	97%
③ 渇水の増加	27%	50%	77%
④ 台風の強大化	67%	22%	88%
⑤ 竜巻の頻発	45%	33%	77%
⑥ 海面上昇	32%	45%	77%
⑦ 海洋酸性化	18%	52%	70%
⑧ 海水温の上昇	58%	23%	82%
⑨ 北極の海水、南極の氷床、山岳の氷河の減少	67%	20%	83%
⑩ その他	3%	0%	3%
【参考】無回答	2%	22%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（自然生態系）
➢ 「10月の高温化、日本海海水魚（サワラ、アイゴ、クロソイ、ブリ）の生息域の変化」
- 今後現れることが心配
➢ 記述なし

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	63%	25%	85%	42%
② 畜産業	35%	32%	67%	32%
③ 林業	25%	38%	63%	18%
④ 水産業	32%	37%	67%	28%
⑤ 水質悪化など水環境	15%	45%	58%	27%
⑥ 渇水など水資源	18%	43%	60%	27%
⑦ 森林・高山の生態系	57%	18%	73%	28%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	17%	42%	58%	18%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	37%	27%	63%	28%
⑩ 海洋生態系	37%	28%	65%	23%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	57%	17%	70%	38%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	22%	35%	57%	28%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	52%	18%	68%	32%
⑭ 熱中症など暑熱	57%	20%	72%	32%
⑮ デング熱など感染症	43%	32%	73%	42%
⑯ 輸入食料への影響	17%	43%	58%	27%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	8%	38%	47%	23%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	35%	33%	65%	32%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	33%	33%	65%	27%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	52%	28%	75%	38%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	10%	42%	52%	15%
㉒ その他	2%	0%	2%	0%
【参考】無回答	10%	13%		28%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
➢ 記述なし
- 今後現れることが心配
➢ 記述なし
- 今後対策が必要
➢ 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

三重県（11月6日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月6日開催 三重県気候講演会（三重県）
回答者：124人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 三重県：2014年11月6日（木）

3. 調査結果の概要

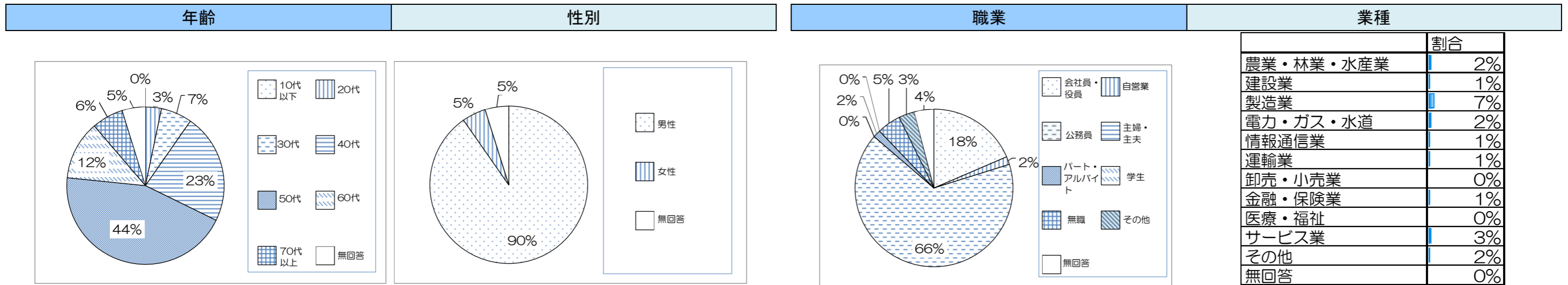
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約7割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」（97%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（88%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（79%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「海洋酸性化」（73%）が最も多く、次いで「渇水の増加」（50%）、「海面上昇」（49%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）：「降雨強度の増大」
（農業・林業・水産業）：「農作物の病気発生が多い」、「熱帯性作物栽培の適地北上（高緯度化）」
（自然生態系）：「生物絶滅（危惧種）」、「生態系変化」、「虫（農業に影響する）の増加」、「熱帯生物の北上」
（国民生活）：「温暖化による四季のずれ」
 - 【今後現れることが心配】
（自然生態系）：「生物絶滅（危惧種）」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

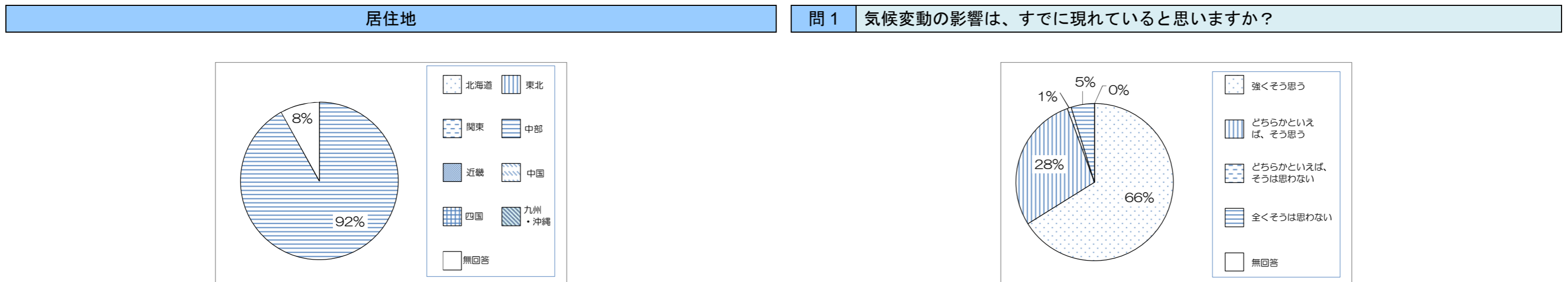
- 既に現れていると感じる分野
「洪水などの河川災害・都市災害」（75%）が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」（69%）、「土砂崩れなど山地災害」（66%）の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
「畜産業」（56%）が最も多く、次いで「地方の祭り等文化面に与える影響」（55%）、「工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響」（50%）の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
「洪水などの河川災害・都市災害」（34%）が最も多く、次いで「農業」（33%）、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（32%）の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性



6.2 回答結果（単純集計）



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
[複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	88%	8%	95%
② 極端な豪雨の増加	97%	6%	99%
③ 渇水の増加	40%	50%	90%
④ 台風の強大化	73%	24%	94%
⑤ 竜巻の頻発	60%	35%	93%
⑥ 海面上昇	46%	49%	94%
⑦ 海洋酸性化	12%	73%	85%
⑧ 海水温の上昇	73%	23%	94%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	79%	19%	97%
⑩ その他	7%	1%	7%
【参考】無回答	0%	16%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

● 既に現れている

- （気候変動）
 - 「降雨強度の増大」
- （農業・林業・水産業）
 - 「農作物の病気発生が多い」
 - 「熱帯性作物栽培の適地北上（高緯度化）」
- （自然生態系）
 - 「生物絶滅（危惧種）」
 - 「生態系の変化」
 - 「虫（農業に影響する）の増加」
 - 「熱帯生物の北上」
- （国民生活）
 - 「温暖化による四季のずれ」

● 今後現れることが心配

- （自然生態系）
 - 「生物絶滅（危惧種）」

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	60%	29%	86%	33%
② 畜産業	12%	56%	68%	18%
③ 林業	31%	45%	75%	21%
④ 水産業	54%	29%	82%	25%
⑤ 水質悪化など水環境	32%	44%	75%	23%
⑥ 渇水など水資源	34%	46%	79%	23%
⑦ 森林・高山の生態系	32%	44%	75%	23%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	26%	47%	73%	19%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	41%	39%	79%	23%
⑩ 海洋生態系	36%	40%	75%	25%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	75%	11%	84%	34%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	27%	49%	76%	19%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	66%	20%	84%	29%
⑭ 熱中症など暑熱	69%	12%	81%	21%
⑮ デング熱など感染症	47%	24%	71%	28%
⑯ 輸入食料への影響	32%	38%	70%	22%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	11%	50%	61%	15%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	40%	33%	72%	32%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	30%	46%	75%	13%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	56%	23%	77%	32%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	10%	55%	65%	13%
㉒ その他	0%	0%	0%	0%
【参考】無回答	10%	17%		41%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
 - 記述なし
- 今後対策が必要
 - 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

静岡県（11月8日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月8日開催 気候講演会「地球温暖化をもっと知ろう」（静岡県）
回答者：44人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 静岡県：2014年11月8日（土）

3. 調査結果の概要

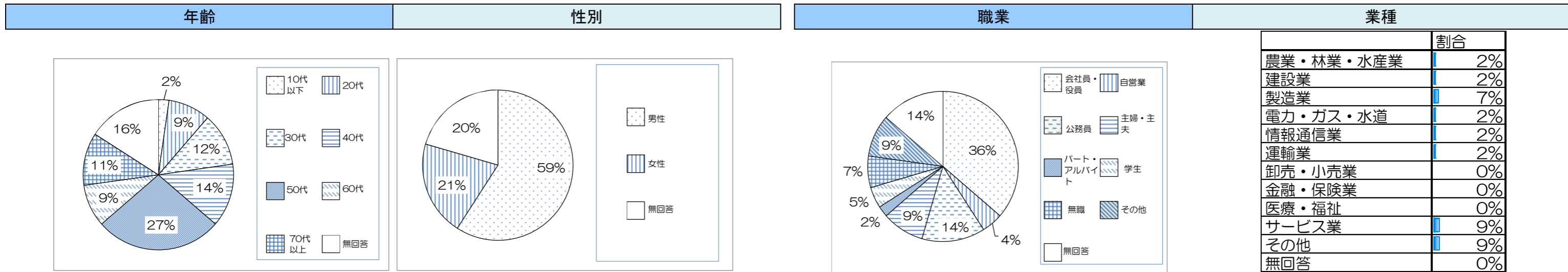
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
 - 「極端な豪雨の増加」（84%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（80%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（75%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
 - 「海洋酸性化」（48%）が最も多く、次いで「渇水の増加」（43%）、「竜巻の頻発」（41%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
 - （気候変動）：「台風の本土接近時期の異変」
 - （農業・林業・水産業）：「このまま気温上昇が続くと魚が喰えなくなる」
 - （自然生態系）：「生態系への影響など」
 - （健康）：「日差しが強く、短時間で日焼けしてしまう」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

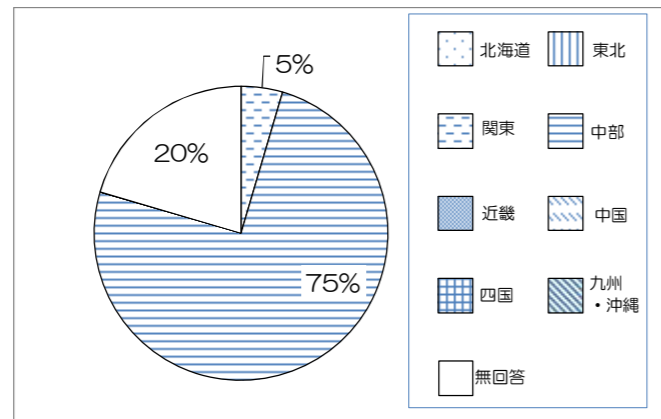
- 既に現れていると感じる分野
 - 「熱中症など暑熱」（64%）が最も多く、次いで「農業」（59%）、「洪水など河川災害・都市災害」（57%）、「土砂崩れなど山地災害」（57%）の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
 - 「畜産業」（45%）、「林業」（45%）が最も多く、次いで「地方の祭り等文化面に与える影響」（43%）の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
 - 「デング熱など感染症」（34%）が最も多く、次いで「洪水など河川災害・都市災害」（32%）、「土砂崩れなど山地災害」（30%）、「エネルギー消費やエネルギー供給への影響」（30%）の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

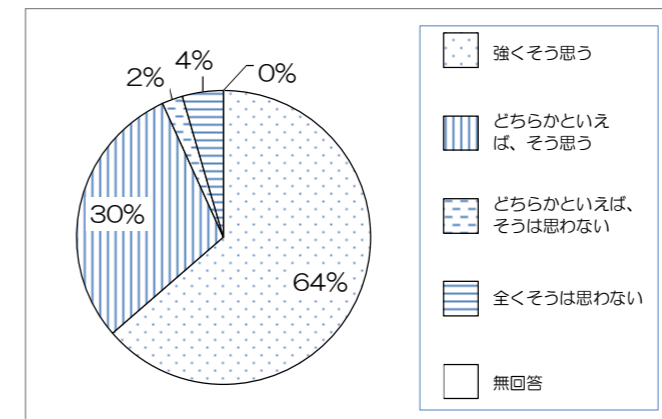


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	80%	16%	91%
② 極端な豪雨の増加	84%	9%	91%
③ 渇水の増加	36%	43%	80%
④ 台風の強大化	66%	20%	86%
⑤ 竜巻の頻発	43%	41%	84%
⑥ 海面上昇	52%	39%	89%
⑦ 海洋酸性化	30%	48%	75%
⑧ 海水温の上昇	73%	20%	91%
⑨ 北極の海水、南極の氷床、山岳の氷河の減少	75%	18%	91%
⑩ その他	11%	0%	11%
【参考】無回答	7%	25%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

● 既に現れている

- （気候変動）
 - 「台風の本土接近時期の異変」
- （農業・林業・水産業）
 - 「このまま気温上昇が続くと魚が喰えなくなる。」
- （自然生態系）
 - 「生態系への影響など」
- （健康）
 - 「日射しが強く、短時間で日焼けしてしまう（海水浴で数時間浜辺にいただけで水泡ができるまで焼けてしまった）」

● 今後現れることが心配

- 記述なし

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	59%	16%	75%	25%
② 畜産業	16%	45%	61%	14%
③ 林業	18%	45%	64%	14%
④ 水産業	43%	27%	68%	20%
⑤ 水質悪化など水環境	25%	30%	55%	18%
⑥ 渇水など水資源	30%	39%	68%	18%
⑦ 森林・高山の生態系	41%	27%	68%	14%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	27%	32%	59%	11%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	48%	20%	68%	20%
⑩ 海洋生態系	34%	25%	59%	18%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	57%	14%	70%	32%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	25%	32%	55%	23%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	57%	16%	70%	30%
⑭ 熱中症など暑熱	64%	9%	70%	25%
⑮ デング熱など感染症	36%	23%	59%	34%
⑯ 輸入食料への影響	25%	34%	59%	23%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	9%	39%	48%	23%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	34%	25%	59%	30%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	34%	27%	61%	18%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	55%	23%	75%	27%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	9%	43%	52%	16%
㉒ その他	0%	0%	0%	0%
【参考】無回答	20%	27%		48%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
 - 記述なし
- 今後対策が必要
 - 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

東京都（11月20日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月20日開催 海洋観測の現状と展望・地球環境科学への貢献（東京都）
回答者：91人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 東京都：2014年11月20日（木）

3. 調査結果の概要

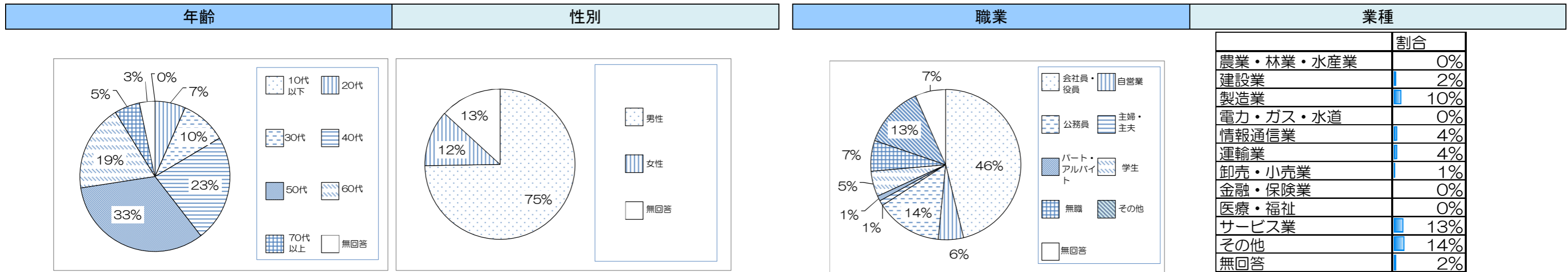
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
 - 「極端な豪雨の増加」（80%）が最も多く、次いで「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（79%）、
「海水温の上昇」（76%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
 - 「渇水の増加」（41%）が最も多く、次いで「海洋酸性化」（37%）、
「海面上昇」（35%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）：「季節はずれの雪・氷、天候の固定化」
（農業・林業・水産業）：「農作物への影響」
（自然生態系）：「植生、海洋生物」、「生物分布の変化」、「生物の北上。魚、蚊やウイルス等」、「昆虫の異常発生、魚の生息域の変化」
（健康）：「人間も気温・温度の急激な変動による健康への影響」
 - 【今後現れることが心配】
（気候変動）：「南極周極流の流量変化」
（農業・林業・水産業）：「食糧飢饉」

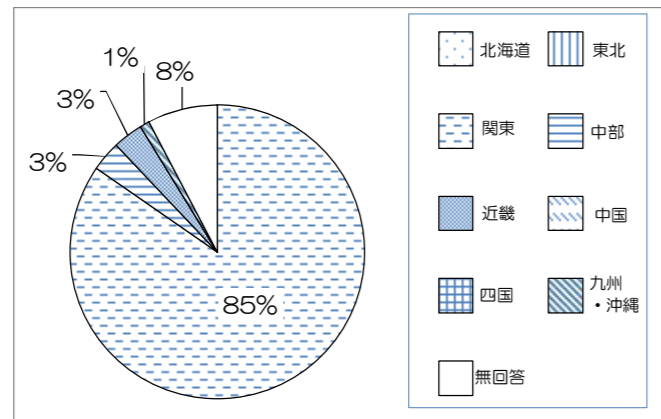
- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】
 - 既に現れていると感じる分野
 - 「農業」（57%）が最も多く、次いで「水産業」（56%）、
「熱中症など暑熱」（56%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる分野
 - 「畜産業」（55%）が最も多く、次いで「林業」（49%）、
「海洋生態系」（45%）の順であった。
 - 今後対策が必要と考えられる分野
 - 「エネルギー消費やエネルギー供給への影響」（42%）が最も多く、次いで「農業」（41%）、
「高潮など沿岸域での災害」（36%）、
「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（36%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（自然生態系）：「生物分布の変化」
 - 【今後対策が必要】
（自然生態系）：「生物分布の変化」

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

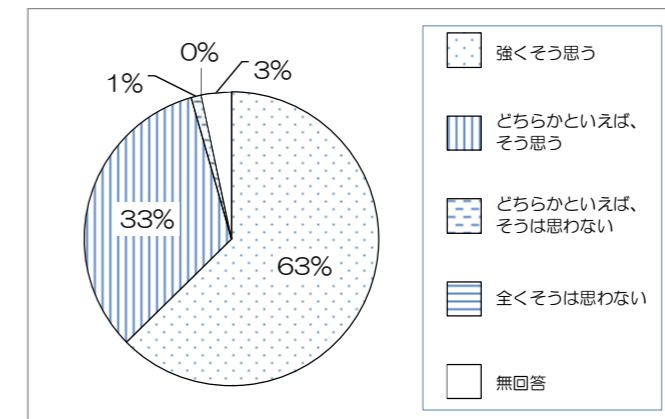


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
[複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは 今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	74%	12%	86%
② 極端な豪雨の増加	80%	11%	91%
③ 渇水の増加	35%	41%	76%
④ 台風の強大化	69%	14%	84%
⑤ 竜巻の頻発	48%	34%	82%
⑥ 海面上昇	47%	35%	81%
⑦ 海洋酸性化	51%	37%	86%
⑧ 海水温の上昇	76%	13%	87%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳 の氷河の減少	79%	8%	86%
⑩ その他	10%	3%	13%
【参考】無回答	3%	29%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（気候変動）
 - 「季節はずれの雪・氷、天候の固定化」
 - 「年変動の増大」
（農業・林業・水産業）
 - 「農作物への影響」
（自然生態系）
 - 「植生、海洋生物」
 - 「生物分布の変化」
 - 「生物の北上。魚、蚊やウイルス等」
 - 「昆虫の異常発生、魚の生息域の変化」
（健康）
 - 「人間も気温・温度の急激な変動による健康への影響」
- 今後現れることが心配
（気候変動）
 - 「南極周極流の流量変化」
（農業・林業・水産業）
 - 「食糧飢饉」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	57%	34%	88%	41%
② 畜産業	13%	55%	66%	24%
③ 林業	16%	49%	66%	19%
④ 水産業	56%	33%	85%	31%
⑤ 水質悪化など水環境	19%	40%	58%	22%
⑥ 渇水など水資源	27%	44%	70%	26%
⑦ 森林・高山の生態系	34%	40%	71%	18%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	20%	40%	58%	20%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	49%	30%	78%	24%
⑩ 海洋生態系	33%	45%	75%	20%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	49%	27%	75%	35%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	27%	37%	64%	36%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	42%	24%	64%	34%
⑭ 熱中症など暑熱	56%	18%	71%	24%
⑮ デング熱など感染症	38%	30%	67%	34%
⑯ 輸入食料への影響	26%	41%	66%	35%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	10%	43%	53%	27%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	30%	36%	64%	42%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	21%	43%	63%	19%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	44%	29%	70%	36%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	9%	33%	41%	22%
㉒ その他	3%	1%	3%	3%
【参考】無回答	11%	10%		29%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（自然生態系）
 - 「生物分布の変化」
 - （国民生活）
 - 「教育・育児への影響、国際紛争の悪化」
- 今後対策が必要
（自然生態系）
 - 「生物分布の変化」
 - （国民生活）
 - 「教育・育児への影響、国際紛争の悪化」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

東京都（11月26日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年11月26日開催 「地域における気候変動適応策の離陸に向けて」（東京都）
回答者：82人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 東京都：2014年11月26日（水）

3. 調査結果の概要

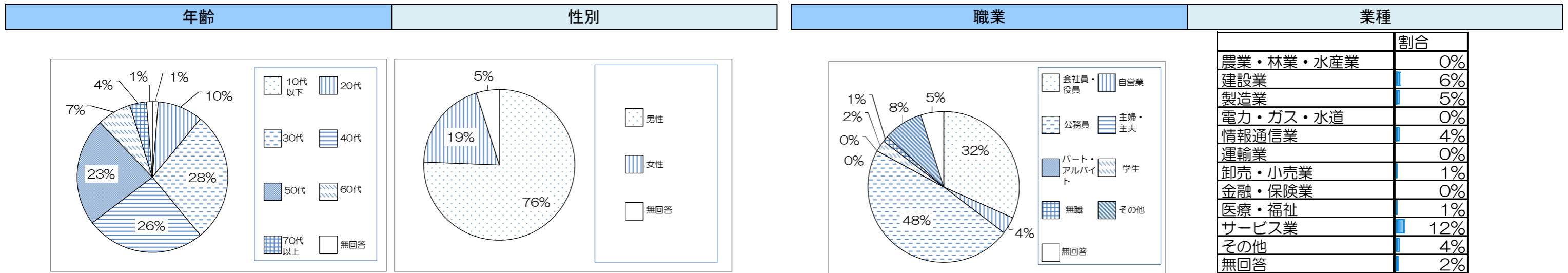
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約5割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」（90%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（84%）、「海面上昇」（68%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「渇水の増加」（50%）が最も多く、次いで「海洋酸性化」（48%）、「海水温の上昇」（40%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）：「猛暑日が増えている。台風の被害が大きくなっている。近くで竜巻が起きた。海岸線が短くなっている。春・秋が短くなった。」
（自然生態系）：「南方系生物の北上」、「東京湾で熱帯魚が見られる。熱帯性のチョウが飛んでいる。」
 - 【今後現れることが心配】
（気候変動）：「強雨が増えたと思います」、「猛暑日の増加 極端気象の続出」

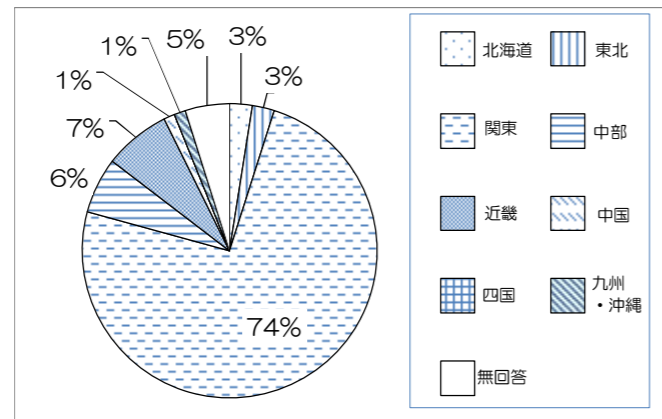
- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】
 - 既に現れていると感じる分野
「熱中症など暑熱」（72%）が最も多く、次いで「農業」（65%）、「洪水など河川災害・都市災害」（56%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる分野
「渇水など水資源」（51%）、「スキーや紅葉など観光業に与える影響」（51%）が最も多く、次いで「林業」（44%）、「高潮など沿岸域での災害」（44%）の順であった。
 - 今後対策が必要と考えられる分野
「洪水など河川災害・都市災害」（44%）が最も多く、次いで「農業」（35%）、「熱中症など暑熱」（34%）の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

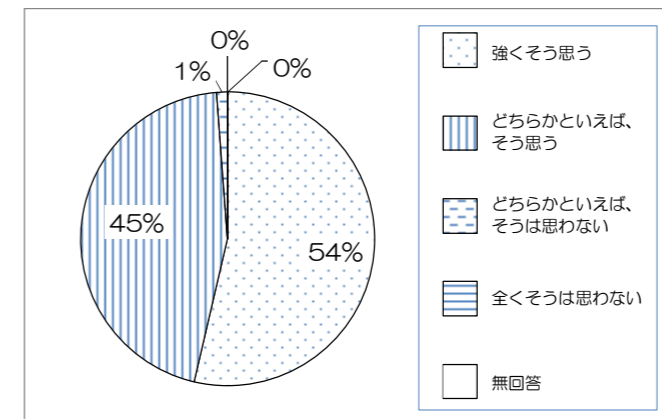


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
[複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	84%	16%	95%
② 極端な豪雨の増加	90%	10%	95%
③ 渇水の増加	16%	50%	66%
④ 台風の強大化	57%	30%	84%
⑤ 竜巻の頻発	40%	28%	67%
⑥ 海面上昇	68%	20%	85%
⑦ 海洋酸性化	33%	48%	79%
⑧ 海水温の上昇	27%	40%	67%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	51%	33%	79%
⑩ その他	6%	6%	12%
【参考】無回答	4%	17%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

● 既に現れている

（気候変動）

- 「猛暑日が増えている。台風の被害が大きくなっている。近くで竜巻が起きた。海岸線が短くなっている。春・秋が短くなった。」

（自然生態系）

- 「南方系生物の北上」
- 「東京湾で熱帯魚が見られる。熱帯性のチョウが飛んでいる。」

● 今後現れることが心配

（気候変動）

- 「強雨が増えたと思います」
- 「猛暑日の増加 極端気象の続出」

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	65%	32%	87%	35%
② 畜産業	33%	39%	67%	24%
③ 林業	18%	44%	57%	23%
④ 水産業	40%	37%	72%	28%
⑤ 水質悪化など水環境	11%	35%	45%	21%
⑥ 渇水など水資源	13%	51%	62%	27%
⑦ 森林・高山の生態系	37%	41%	74%	16%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	16%	40%	54%	16%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	41%	32%	70%	17%
⑩ 海洋生態系	33%	33%	62%	17%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	56%	23%	76%	44%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	26%	44%	70%	30%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	50%	30%	76%	29%
⑭ 熱中症など暑熱	72%	18%	85%	34%
⑮ デング熱など感染症	44%	34%	77%	33%
⑯ 輸入食料への影響	18%	39%	56%	21%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	16%	38%	51%	18%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	27%	33%	59%	24%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	22%	51%	72%	18%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	43%	40%	78%	32%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	6%	39%	44%	16%
㉒ その他	0%	4%	4%	2%
【参考】無回答	5%	9%		28%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

● 既に現れている

- 記述なし

● 今後現れることが心配

- 記述なし

● 今後対策が必要

- 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

沖縄県（12月9日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年12月9日開催 平成26年度 気候講演会（沖縄県）
回答者：42人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 沖縄県：2014年12月9日（火）

3. 調査結果の概要

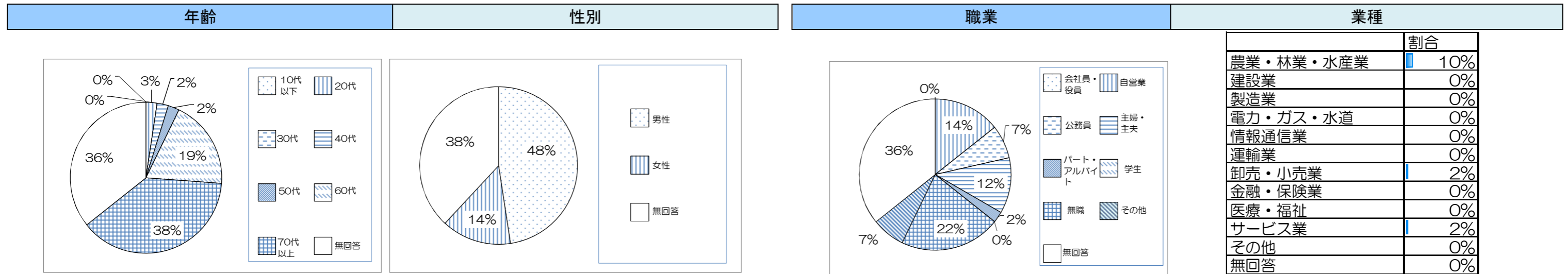
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約7割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「夏の猛暑、冬の暖冬など」（74%）、「台風の強大化」（74%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（74%）が最も多く、次いで「極端な豪雨の増加」（69%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「海洋酸性化」（40%）が最も多く、次いで「竜巻の頻発」（36%）、「海面上昇」（36%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（自然生態系）：「昆虫類の異常発生活滅」
 - 【今後現れることが心配】
（自然生態系）：「温暖な地域で栽培されてきた果物が本州や北海道でも育つようになっている。」

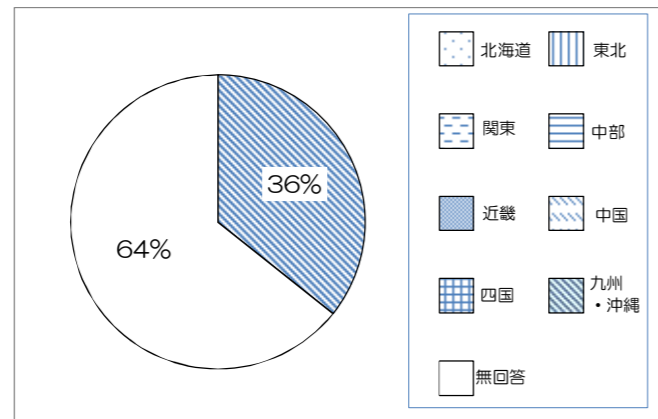
- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】
 - 既に現れていると感じる分野
「洪水などの河川災害・都市災害」（26%）が最も多く、次いで「渇水など水資源」（24%）、「土砂崩れなど山地災害」（24%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる分野
「スキーや紅葉など観光業に与える影響」（24%）が最も多く、次いで「水産業」（21%）、「森林・高山の生態系」（21%）の順であった。
 - 今後対策が必要と考えられる分野
「地方の祭り等文化面に与える影響」（24%）が最も多く、次いで「畜産業」（19%）、「水質悪化など水環境」（19%）、「高潮など沿岸域での災害」（19%）、「デング熱など感染症」（19%）、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（19%）の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

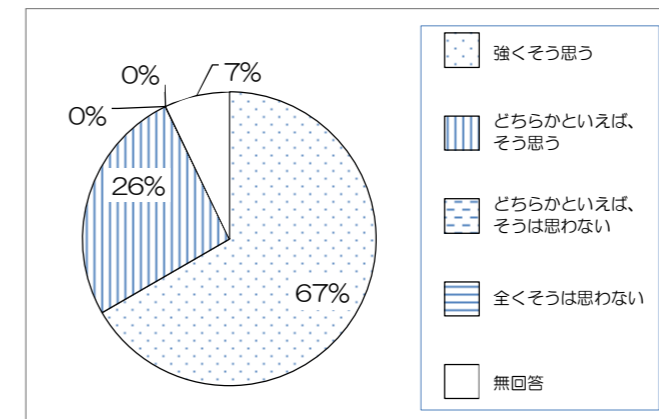


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	74%	12%	83%
② 極端な豪雨の増加	69%	19%	88%
③ 渇水の増加	57%	26%	83%
④ 台風の強大化	74%	19%	93%
⑤ 竜巻の頻発	38%	36%	74%
⑥ 海面上昇	52%	36%	88%
⑦ 海洋酸性化	26%	40%	67%
⑧ 海水温の上昇	60%	24%	83%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	74%	14%	88%
⑩ その他	5%	5%	10%
【参考】無回答	5%	38%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（自然生態系）
 - 「昆虫類の異常発生消滅」
- 今後現れることが心配
（自然生態系）
 - 「温暖な地域で栽培されてきた果物が本州や北海道でも育つようになっている。」

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	21%	19%	40%	14%
② 畜産業	7%	19%	26%	19%
③ 林業	7%	19%	26%	17%
④ 水産業	14%	21%	36%	17%
⑤ 水質悪化など水環境	17%	17%	33%	19%
⑥ 渇水など水資源	24%	14%	38%	17%
⑦ 森林・高山の生態系	5%	21%	24%	14%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	7%	17%	24%	12%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	21%	10%	31%	12%
⑩ 海洋生態系	14%	17%	31%	12%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	26%	17%	43%	12%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	12%	17%	29%	19%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	24%	17%	38%	14%
⑭ 熱中症など暑熱	21%	17%	38%	14%
⑮ デング熱など感染症	17%	14%	31%	19%
⑯ 輸入食料への影響	14%	19%	33%	12%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	7%	17%	24%	10%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	10%	17%	26%	17%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	10%	24%	33%	17%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	17%	17%	33%	19%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	5%	14%	19%	24%
㉒ その他	0%	0%	0%	0%
【参考】無回答	52%	50%		67%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
 - 記述なし
- 今後対策が必要
 - 記述なし

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

兵庫県（12月18日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年12月18日開催 気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCと兵庫県民の対話～（兵庫県）
回答者：108人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 兵庫県：2014年12月18日（木）

3. 調査結果の概要

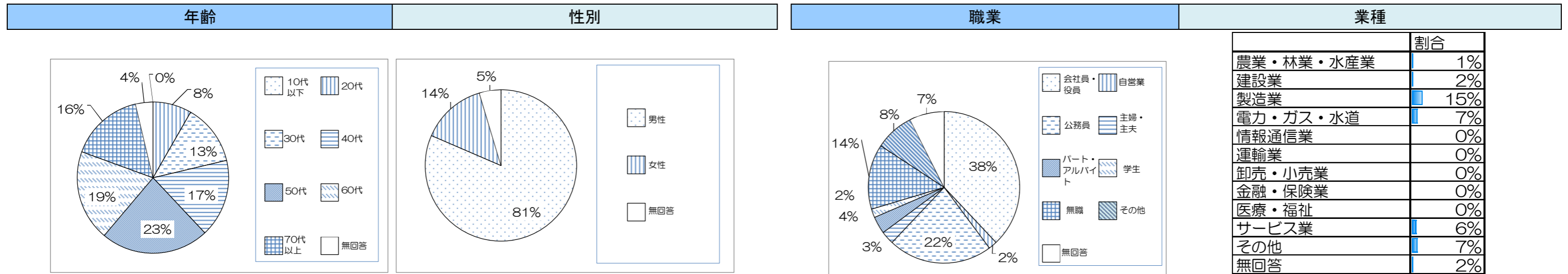
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
 - 「極端な豪雨の増加」(92%)が最も多く、次いで「台風の強大化」(83%)、「夏の猛暑、冬の暖冬など」(77%)の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
 - 「海洋酸性化」(52%)が最も多く、次いで「海面上昇」(47%)、「渇水の増加」(44%)の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
 - (気候変動)：「台風が冬になっても発生している。夏が長く、春や秋の期間が短くなってきている。」
 - (農業・林業・水産業)：「農産物の減少」
 - (自然生態系)：「動植物の分布域変動」、「生物の分布の変化」、「南の生態系の北上」、「動植物の北限域が変化している。」、「生態系と植物の分布」
 - (健康)：「感染症の増加」
 - (国民生活)：「台風が冬になっても発生している。夏が長く、春や秋の期間が短くなってきている。」、「四季の変化（桜の開花や紅葉の時期）」
 - 【今後現れることが心配】
 - (自然生態系)：「生態系の変化」
 - (健康)：「感染症の増加」、「(ヒマラヤ、北米の氷河の後退、南極の氷減少) 熱帯性伝染病の北上」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

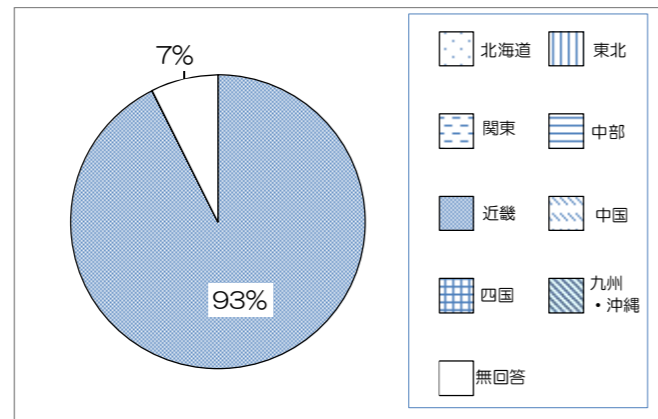
- 既に現れていると感じる分野
 - 「洪水など河川災害・都市災害」(65%)が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」(61%)、「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」(52%)の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
 - 「工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響」(51%)が最も多く、次いで「畜産業」(45%)、「淡水魚など淡水生態系」(42%)、「輸入食料への影響」(42%)の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
 - 「洪水など河川災害・都市災害」(37%)、が最も多く、次いで「渇水など水資源」(35%)、「高潮など沿岸域での災害」(34%)の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

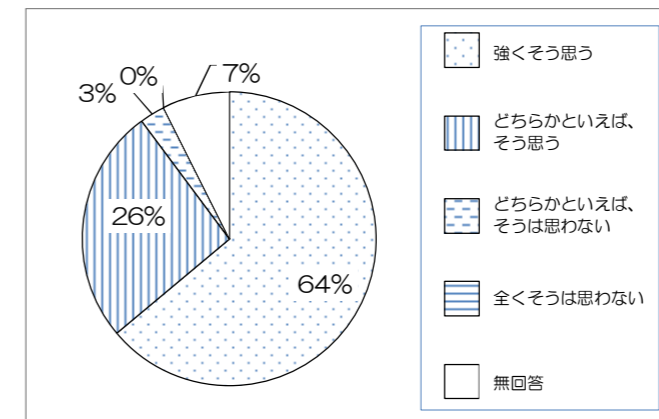


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？[複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	77%	12%	89%
② 極端な豪雨の増加	92%	4%	95%
③ 渇水の増加	31%	44%	75%
④ 台風の強大化	83%	8%	92%
⑤ 竜巻の頻発	64%	20%	84%
⑥ 海面上昇	40%	47%	87%
⑦ 海洋酸性化	23%	52%	75%
⑧ 海水温の上昇	66%	19%	84%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	75%	14%	87%
⑩ その他	8%	3%	11%
【参考】無回答	5%	23%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

● 既に現れている

（気候変動）

➢ 「台風が冬になっても発生している。夏が長く、春や秋の期間が短くなってきている。」

（農業・林業・水産業）

➢ 「農産物の減少」

（自然生態系）

➢ 「動植物の分布域変動」

➢ 「生物の分布の変化」

➢ 「南の生態系の北上」

➢ 「動植物の北限域が変化している。」

➢ 「生態系と植物の分布」

（健康）

➢ 「感染症の増加」

（国民生活）

➢ 「四季の変化（桜の開花や紅葉の時期）」

● 今後現れることが心配

（自然生態系）

➢ 「生態系の変化」

（健康）

➢ 「感染症の増加」

➢ 「（ヒマラヤ、北米の氷河の後退、南極の氷減少）熱帯性伝染病の北上」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	44%	39%	82%	33%
② 畜産業	14%	45%	59%	27%
③ 林業	23%	39%	62%	24%
④ 水産業	49%	31%	80%	29%
⑤ 水質悪化など水環境	18%	41%	58%	22%
⑥ 湧水など水資源	26%	39%	64%	35%
⑦ 森林・高山の生態系	43%	33%	76%	20%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	21%	42%	63%	19%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	48%	31%	79%	25%
⑩ 海洋生態系	44%	30%	74%	27%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	65%	17%	81%	37%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	39%	35%	74%	34%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	52%	18%	69%	31%
⑭ 熱中症など暑熱	61%	19%	80%	26%
⑮ デング熱など感染症	51%	24%	75%	33%
⑯ 輸入食料への影響	26%	42%	68%	28%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	7%	51%	58%	21%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	39%	28%	67%	31%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	22%	36%	58%	17%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	52%	25%	77%	32%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	9%	34%	44%	19%
㉒ その他	0%	0%	0%	3%
【参考】無回答	12%	11%		31%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
➤ 記述なし
- 今後現れることが心配
➤ 記述なし
- 今後対策が必要

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

東京都（12月25日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年12月25日開催 「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCの最新の科学的知見とCOP21への展望～」(東京都)
回答者：117人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 東京都：2014年12月25日（木）

3. 調査結果の概要

- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約6割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。

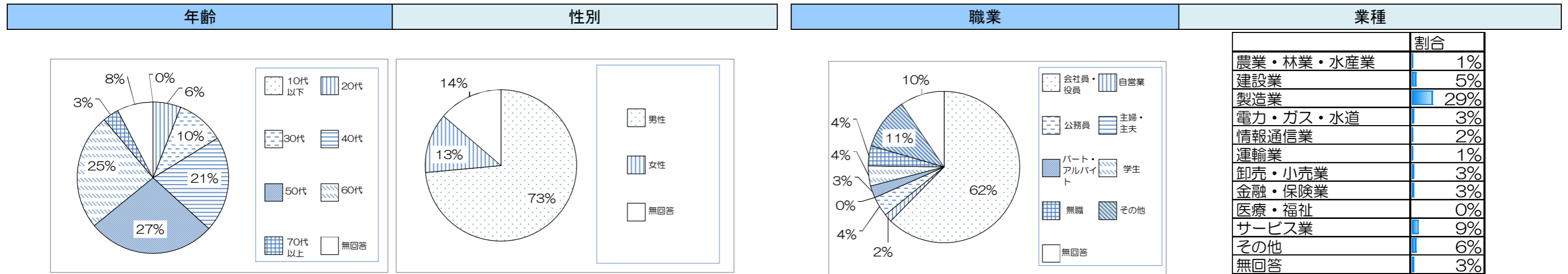
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」(79%)が最も多く、次いで「台風の強大化」(74%)、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」(73%)の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「渇水の増加」(52%)が最も多く、次いで「海面上昇」(46%)、「海洋酸性化」(40%)の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
(気候変動)：「台風、低気圧、雪」
(自然生態系)：「生物多様への影響」、「生物の絶滅 加速」、「動植物の極方向への移動」
(健康)：「熱中症の増加」、「感染症分布の拡大」
(国民生活)：「桜の開花が早まる。」
 - 【今後現れることが心配】
(気候変動)：「台風、低気圧、雪」
(自然生態系)：「植生への影響」
(国民生活)：「砂漠や熱帯雨林の急激な変化に伴う、地域紛争の発生・激化。グローバル居住マップの変更の遅れ。」

- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

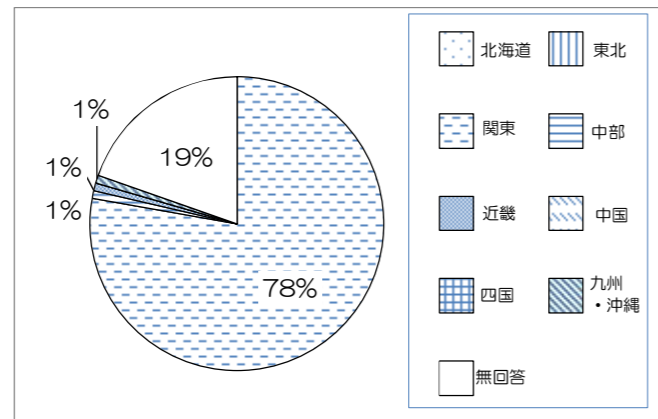
- 既に現れていると感じる分野
「洪水など河川災害・都市災害」(56%)が最も多く、次いで「熱中症など暑熱」(55%)、「サンゴ礁、干潟など沿岸生態系」(51%)、「土砂崩れなど山地災害」(51%)の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
「畜産業」(45%)が最も多く、次いで、「林業」(42%)、「輸入食料への影響」(42%)の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
「農業」(38%)が最も多く、次いで「洪水など河川災害・都市災害」(29%)、「エネルギー消費やエネルギー供給への影響」(29%)の順であった。

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

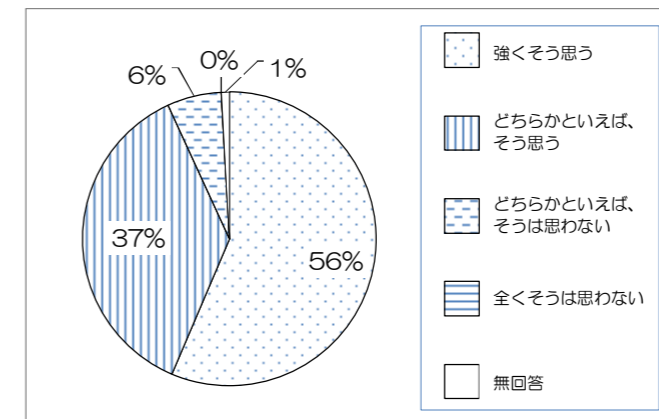


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	69%	21%	87%
② 極端な豪雨の増加	79%	16%	92%
③ 渇水の増加	23%	52%	75%
④ 台風の強大化	74%	20%	92%
⑤ 竜巻の頻発	50%	31%	79%
⑥ 海面上昇	38%	46%	84%
⑦ 海洋酸性化	34%	40%	73%
⑧ 海水温の上昇	58%	33%	90%
⑨ 北極の海水、南極の氷床、山岳の氷河の減少	73%	18%	88%
⑩ その他	7%	3%	9%
【参考】無回答	8%	21%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（気候変動）
 - 「台風、低気圧、雪」
（自然生態系）
 - 「生物多様への影響」
 - 「生物の絶滅 加速」
 - 「動植物の極方向への移動」
（健康）
 - 「熱中症の増加」
 - 「感染症分布の拡大」
（国民生活）
 - 「桜の開花が早まる。」

- 今後現れることが心配
（気候変動）
 - 「台風、低気圧、雪」
（自然生態系）
 - 「植生への影響」
（国民生活）
 - 「砂漠や熱帯雨林の急激な変化に伴う、地域紛争の発生・激化。グローバル居住マップの変更の遅れ。」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感
 じますか？
 また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは 今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	50%	34%	81%	38%
② 畜産業	19%	45%	62%	20%
③ 林業	19%	42%	60%	20%
④ 水産業	46%	31%	74%	23%
⑤ 水質悪化など水環境	19%	41%	59%	20%
⑥ 湧水など水資源	24%	43%	67%	25%
⑦ 森林・高山の生態系	39%	38%	76%	13%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	20%	41%	59%	13%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	51%	27%	76%	20%
⑩ 海洋生態系	36%	38%	72%	23%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	56%	21%	75%	29%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	38%	38%	74%	24%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	51%	19%	69%	24%
⑭ 熱中症など暑熱	55%	20%	73%	17%
⑮ テング熱など感染症	38%	37%	73%	26%
⑯ 輸入食料への影響	26%	42%	68%	26%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影 響など製造業に与える影響	19%	41%	59%	24%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供 給への影響	30%	40%	68%	29%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与 える影響	19%	38%	56%	15%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道な ど都市インフラに与える影響	45%	30%	74%	28%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影 響	13%	35%	48%	15%
㉒ その他	0%	1%	1%	2%
【参考】無回答	21%	15%		37%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
（その他）
 - 「気候変動に合わせた住民の移動等、グローバルな対策の遅れの影響。（砂漠の緑化や、水資源の最備分配等
 です。エネルギーのグローバルな安定供給もです。）適応ですね。」
- 今後対策が必要

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、
 いずれか一方でも選択している人の数を集計。

愛媛県（12月27日）のアンケート結果について

1. 調査対象

- 2014年12月27日開催 「気候変動の科学とわたしたちの未来～IPCCと地域の対話 in 愛媛・松山～」(愛媛県)
回答者：79人

2. 調査期間

- シンポジウム開催日
 - 愛媛県：2014年12月27日（土）

3. 調査結果の概要

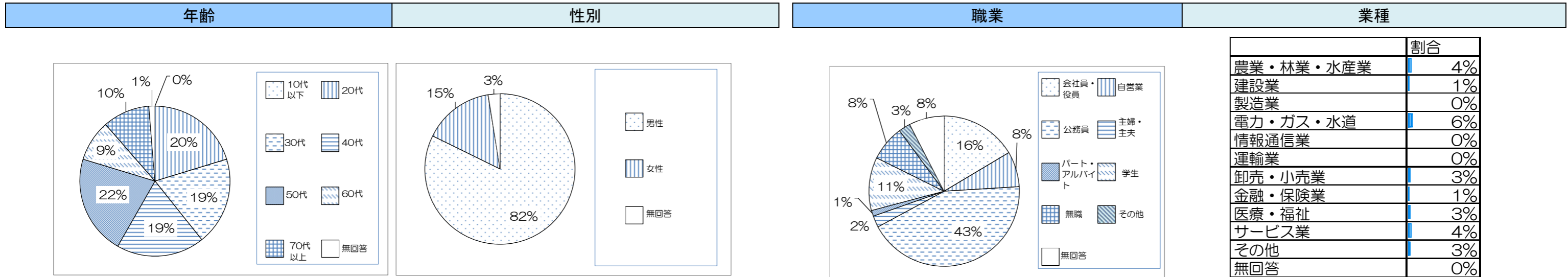
- 気候変動の影響に関する現状認識
 - 気候変動の影響が、すでに現れていると思うか尋ねたところ、「強くそう思う」と回答した方が最も多く、約8割を占めた。また、肯定的な回答（「強くそう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計）をした方は、9割を超える。
- 気候変動に関する現状認識
 - 既に現れていると感じる現象
「極端な豪雨の増加」（90%）が最も多く、次いで「夏の猛暑、冬の暖冬など」（89%）、「北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少」（73%）の順であった。
 - 今後現れることが心配と感じる現象
「海洋酸性化」（53%）が最も多く、次いで「海面上昇」（43%）、「渇水の増加」（38%）の順であった。
 - その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【既に現れている】
（気候変動）：「局地的突発的な異常気象」
（農業・林業・水産業）：「野菜の値段の高騰。四季の二極化。」、「農作物への影響」
（自然生態系）：「高山にすむ生物（雷鳥など）への脅威」
（健康）：「熱帯・亜熱帯地域の伝染病の範囲拡大。」
 - 【今後現れることが心配】
（自然生態系）：「植生北限の上昇（北上）」
（自然災害）：「山火事」

- 既に現れていると感じる分野
「農業」（76%）が最も多く、次いで「洪水など河川災害・都市災害」（70%）、「水産業」（67%）の順であった。
- 今後現れることが心配と感じる分野
「畜産業」（49%）、「地方の祭り等文化面に与える影響」（49%）が最も多く、次いで「工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響」（48%）の順であった。
- 今後対策が必要と考えられる分野
「農業」（34%）、「洪水など河川災害・都市災害」（34%）が最も多く、次いで「集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響」（33%）の順であった。
- その他の自由記述に記載された内容（例）
 - 【今後現れることが心配】
（自然生態系）：「人間以外の動植物生態系の激変。」
 - 【今後対策が必要】
（自然生態系）：「人間以外の動植物生態系の激変。」

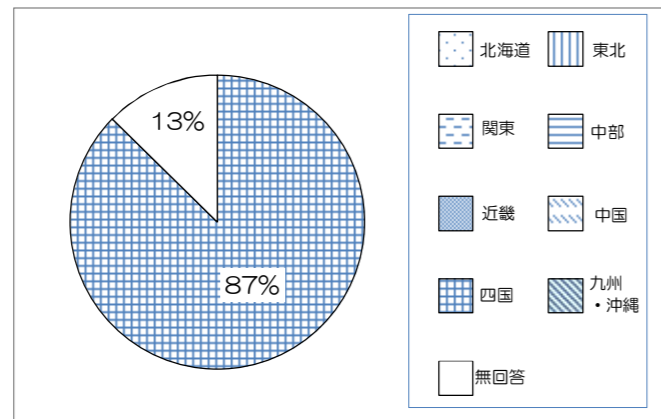
- 気候変動の影響に関する現状認識【分野別】

6. 調査結果の詳細

6.1 回答者属性

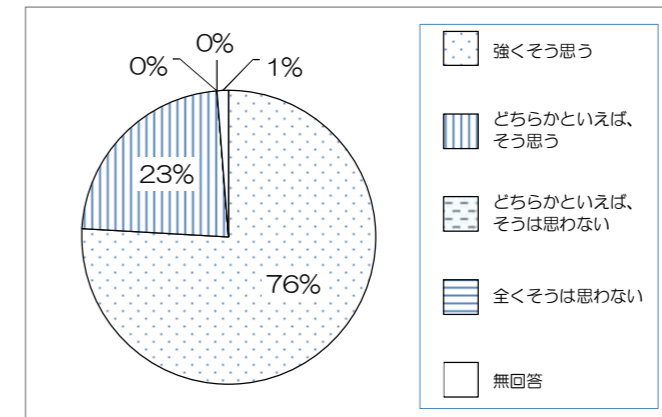


居住地



6.2 回答結果（単純集計）

問1 気候変動の影響は、すでに現れていると思いますか？



◆注釈

●居住地について

北海道：北海道

東北：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

近畿：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国：徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州・沖縄：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

問2 どのような気候変動が【1.既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？〔複数選択可〕

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※
① 夏の猛暑、冬の暖冬など	89%	8%	96%
② 極端な豪雨の増加	90%	3%	92%
③ 渇水の増加	41%	38%	78%
④ 台風の強大化	80%	13%	92%
⑤ 竜巻の頻発	51%	33%	82%
⑥ 海面上昇	43%	43%	85%
⑦ 海洋酸性化	24%	53%	76%
⑧ 海水温の上昇	67%	19%	85%
⑨ 北極の海氷、南極の氷床、山岳の氷河の減少	73%	18%	91%
⑩ その他	9%	3%	11%
【参考】無回答	1%	28%	

◆ ⑩その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
（気候変動）
 - 「局地的突発的な異常気象」
（農業・林業・水産業）
 - 「野菜の値段の高騰。四季の二極化。」
 - 「農作物への影響」
（自然生態系）
 - 「高山にすむ生物（雷鳥など）への脅威」
（健康）
 - 「熱帯・亜熱帯地域の伝染病の範囲拡大。」
- 今後現れることが心配
（自然生態系）
 - 「植生北限の上昇（北上）」
（自然災害）
 - 「山火事」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

問3 どのような分野に【1.気候変動の影響が既に現れている】、【2.今後現れることが心配】と感じますか？
また、【3.今後対策が必要と考えられるのはどのような分野】ですか？ [複数選択可]

	既に現れている	今後現れることが心配	既に現れている、もしくは今後現れることが心配※	今後対策が必要
① 農業	76%	20%	90%	34%
② 畜産業	22%	49%	70%	24%
③ 林業	32%	42%	73%	19%
④ 水産業	67%	15%	82%	27%
⑤ 水質悪化など水環境	29%	41%	70%	27%
⑥ 湧水など水資源	34%	41%	75%	24%
⑦ 森林・高山の生態系	41%	35%	76%	22%
⑧ 淡水魚など淡水生態系	23%	46%	67%	18%
⑨ サンゴ礁、干潟など沿岸生態系	61%	22%	81%	22%
⑩ 海洋生態系	57%	27%	82%	24%
⑪ 洪水など河川災害・都市災害	70%	18%	86%	34%
⑫ 高潮など沿岸域での災害	42%	33%	73%	30%
⑬ 土砂崩れなど山地災害	58%	16%	75%	29%
⑭ 熱中症など暑熱	57%	28%	82%	19%
⑮ テング熱など感染症	43%	34%	77%	29%
⑯ 輸入食料への影響	30%	46%	76%	22%
⑰ 工場やサプライチェーンへの影響など製造業に与える影響	11%	48%	59%	16%
⑱ エネルギー消費やエネルギー供給への影響	41%	30%	71%	29%
⑲ スキーや紅葉など観光業に与える影響	32%	43%	75%	15%
⑳ 集中豪雨など公共交通・水道など都市インフラに与える影響	66%	16%	80%	33%
㉑ 地方の祭り等文化面に与える影響	10%	49%	59%	11%
㉒ その他	0%	1%	1%	4%
【参考】無回答	3%	14%		38%

◆ ㉒その他の自由記述に記載された内容（例）

- 既に現れている
 - 記述なし
- 今後現れることが心配
 - （自然生態系）
 - 「人間以外の動植物生態系の激変。」
- 今後対策が必要
 - （自然生態系）
 - 「人間以外の動植物生態系の激変。」

※ 「既に現れている、もしくは今後現れることが心配」は「既に現れている」、「今後現れることが心配」のうち、いずれか一方でも選択している人の数を集計。

